別紙２

異文化理解促進プログラム協力講師　自己紹介

※公開可能な内容のみ記載ください。



名前：TOMADA CARA SANCHIA MORALES（トマダ　カラ　サンチヤ　モラレス）
職業：大学院生(修士)
所属：国際経済開発プログラム,人間社会科学研究科，広島大学
専門分野：経済学
日本語レベル：初心者
英語レベルＢ：上級，TOEIC：990

出身国や外国で過ごした経験について教えてください：

私はフィリピン中部にある島、セブ島で生まれ育ちました。セブ島は美しいビーチ、豊かな歴史、そしてマンゴーで有名です。フィリピンは、特に大都市を離れると、豊かな文化と美しい景色が楽しめる熱帯の国です。学業や仕事でフィリピン各地を旅した経験から、新しい場所を訪れるのが大好きです。

2022 年に初めて日本を訪れ、すぐに日本をもっと深く体験したいと思いました。そして今、初めて海外で暮らし、広島での生活にとても満足しています。日本の文化を学び、新しい食べ物を試し、日本の伝統に触れることを楽しんでいます。広島大学の多文化的な環境は、様々な国の人々と出会い、彼らの文化や経験について学ぶ機会を与えてくれます。

広島の児童・生徒たちにどんなことを学んでほしいですか：

広島の子どもたちや学生たちが、異文化への関心を深め、多様な背景を持つ人々と自信を持って交流し、友情を育んでくれることを願っています。

また、フィリピンの文化、食、美しい景色、そして人々の温かさと素晴らしさを通して、フィリピンの魅力を発見してほしいと願っています。

農業を研究する者として、子どもたちには自分たちの食べ物がどこから来るのかを考え、私たちの日常生活を支える農家の方々の重要な役割を理解してほしいと思っています。

そして何よりも、好奇心を持ち続け、違いを尊重し、他者から学ぶ意欲を育んでほしいと願っています。これらの価値観は、子どもたちが周囲の世界をより深く理解し、人々と有意義な繋がりを築く助けになると信じています。

自己紹介を自由に記載してください（写真などもお使いください）：

私はマニラのサント・トーマス大学で経営学の学士号を取得しました。日本に来る前は、農林水産省で農家の方々への経営支援業務に携わっていました。現在は、文部科学省の奨学金を受け、広島大学経済学修士課程に在籍しています。

旅行が大好きで、特に日本の美しい自然景観を訪れるのが好きです。一人旅も好きで、自分のペースで様々な場所を巡ります。様々な料理を試したり、歴史について学んだりするのも好きです。

フィルム写真にも興味があり、風景や日常の瞬間を写真に収めるために、よくフィルムカメラを持ち歩いています。音楽は私にとって非常に重要で、ピアノ、ドラム、ギター、ウクレレなど、いくつかの楽器を演奏します。自由時間には、音楽を聴いたり、楽器を演奏したりして過ごしています。

日本での生活を通して、フィリピンの文化や価値観の素晴らしい側面を皆さんと分かち合いたいと思っています。広島の皆さんと出会い、学び、共に働くことを楽しみにしています。

よろしくお願いします。







